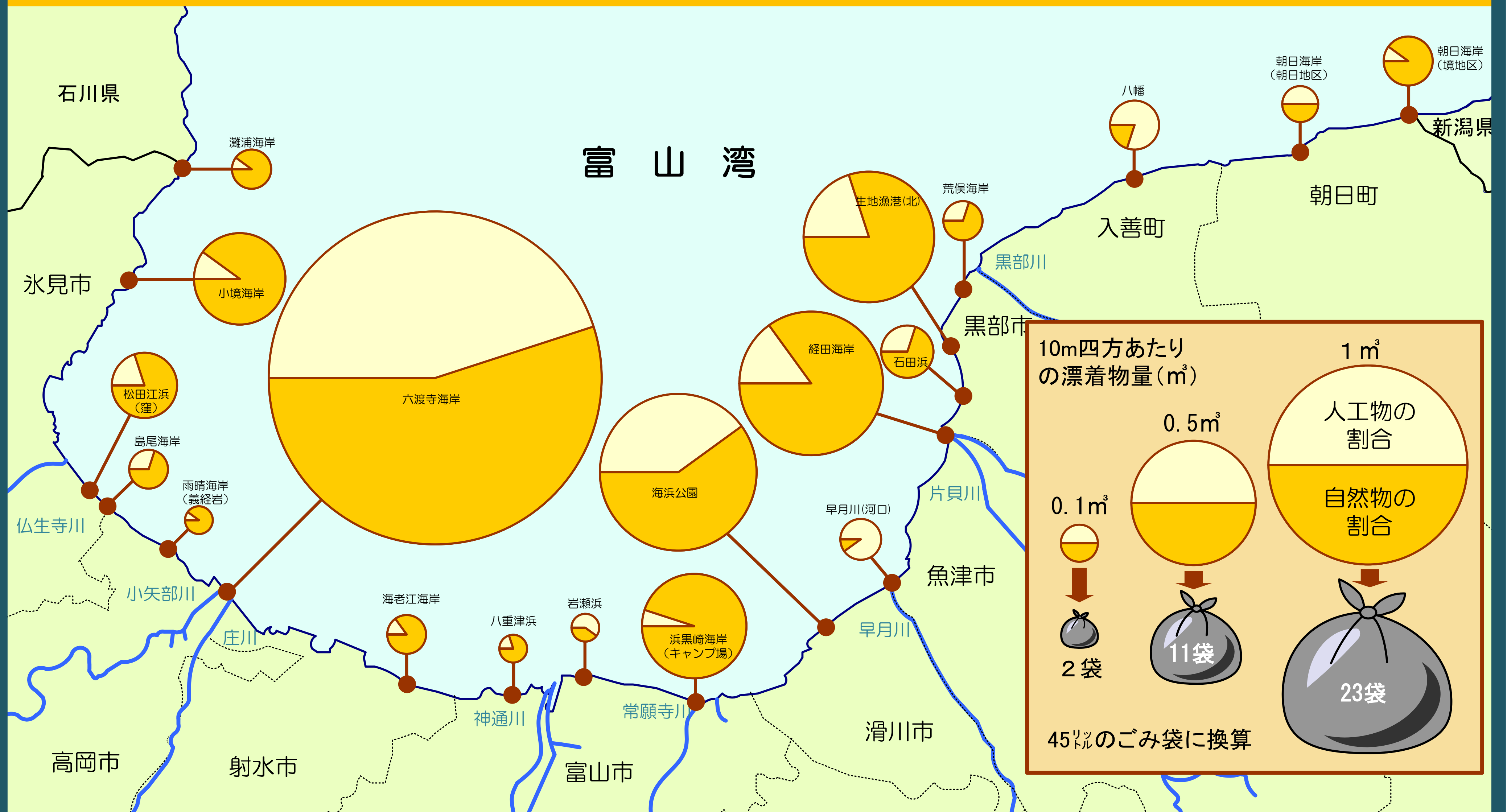


富山県内の海岸漂着物の状況

Q1. 富山県の海岸にごみは漂着していますか？

A1. 県内の55海岸で、漂着ごみの量と種類を調べたところ、全ての海岸において漂着ごみが確認されました。
最も多い海岸では、10m四方あたりで約53袋相当（45ℓのごみ袋換算）の漂着ごみが流れ着いていました。

【調査期間：平成24年3月】



六渡寺海岸【射水市】



浜黒崎海岸(キャンプ場)【富山市】



海浜公園【滑川市】



経田海岸【魚津市】

Q2. 富山県の海岸漂着物はどこから流れてきたものですか？

A2. 富山県内の3海岸で、漂着しているライターに書いてあるお店の名前・住所・電話番号を調べたところ、県内の海岸に漂着しているごみの大部分が、県内の河川から流れてきていることが分かりました。

【調査期間：平成24年1月～12月】



小矢部川の支流河川におけるごみの流出状況

Q3. 川にはごみが流れていますか？ どんなごみが流れていますか？

A3. 小矢部川の支流河川に「オイルフェンス」を7日間設置し、上流から流れてくるごみの量と種類を調べました。

ごみを並べてみると、『たたみ21畳』の広さにもなりました。
その内訳をみると、散乱したごみが川に入り込んだものだけでなく、故意に捨てられたと考えられる袋につめたごみ（食品の袋やトレイ、未開封の食品、同じ銘柄のビンや缶）も多数確認されました。



【調査期間：平成25年11月】



袋の中のごみを全部広げると...

全部で40袋！

この袋のごみを広げると...

川のごみは、風や雨で海や海岸に流れてしまうんだ。だから、川を汚すと、海や海岸も汚れるんだって！

ごみは、絶対に捨てちゃダメだよ！
ルールを守って、「ごみステーション」に出してね。

故意に捨てられたとみられる袋づめのごみ

このパネルは、「平成25年度海岸漂着物発生抑制対策調査」の河川におけるごみ流出実態調査結果（オイルフェンス調査 千保川 地子木橋 第2回目調査）の結果をもとに作成しました。